

Data

対象事業：電気通信設備工事 電気設備工事

対象リスク：平日の夕方、栃木県内で震度7の地震が発生

被災シナリオ：県内で電柱や家屋の倒壊に伴い、電線や通信ケーブルが切断公共施設を含め停電が発生

事業継続策：事業を再開しないことには社会全体が復旧出来ないという重要な部分を担っている為、従業員の安否確認をはじめ、いち早い復旧を目指す



企業名 中央電機通信株式会社

代表者名 設楽 厚夫

Q 御社の事業内容は？

金融機関、商業施設、マンションなどの電気設備、メガソーラー設備等の設計施工、及び電線や通信ケーブル等の電気通信設備工事。

Q 今回BCP策定に取り組まれた理由を教えてください。

得意先・取引先が公共施設、金融機関など社会的に重要な施設であり、通信ケーブル等の工事も請け負っているため、早期復旧に取り組むべく各々の従業員が災害発生時に取るべき行動を認識するためにBCP策定に取り組みました。

Q 策定したBCPの主な内容（ポイント）を教えてください。

得意先のインフラを早期に復旧出来るよう、従業員の初期行動、社内インフラの災害に対する対策、工事に必要な資材等の管理と確保の方法を確立すること。工事車両が必須で、また行動範囲が広いため、燃料調達先を確保すること、の2点となっています。

Q BCP策定によって得られた気付きはありましたか？

従業員の安否確認方法、社内インフラの災害時の対策、資材の確保方法、従業員の役割や行動基準など、弊社には災害対策のマニュアルが一切ありませんでした。早期にBCPを策定することで

より現状を把握し、万一災害が発生した場合に備えられるようにしたいと考えています。

Q 今後の課題と方向性について教えてください。

BCP策定の意義とその内容を全社員に周知していくことと、その訓練を行うことが当面の課題です。また、非常時に必要となる備蓄品を揃えたり、設備等の転倒防止措置を講じたりする必要があり、計画を立てて進めていこうと考えています。

Q BCPを策定した感想をお願いします。

東日本大震災を経験してセミナーに参加した為、BCP策定の重要性を認識しました。様々なワークによって改めて自社の状態を知ることができ、今後はより実行性の高いBCPにしていきたいです。セミナーでは様々な業種のケースを知ることができ、大変参考になりました。

| | |
|-------|------------------------------------|
| 商号 | 中央電機通信株式会社 |
| 本社所在地 | 栃木県宇都宮市中戸祭 1-9-12 |
| 設立 | 昭和28年11月 |
| 資本金 | 2,000万円 |
| 従業員数 | 28名 |
| 代表者 | 設楽 厚夫 |
| 事業内容 | 電気通信工事、 電気設備工事、 大規模太陽光発電設備工事 |